



電友会だより

発行者 電友会本部
 東京都新宿区西新宿3-19-2
 NTT東日本本社ビル内
 TEL 03-5359-6969

発行責任者 電友会本部
 理事 事務局長 星野 睦

発行日 令和5年7月

令和5年度 電友会本部評議員会

高部会長あいさつ



電友会の令和5年度評議員会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

今年の評議員会は、コロナ禍による3年間の書面開催を挟んで、4年ぶりの集合開催となりました。

ご案内の通り、電友会はNTTグループのOB/OGの集まりとして、会員の皆さんが生きがいを持って健康で充実したシニアライフを過ごしていただけるようにとの基本的考えに則って活動しておりますが、これらの活動は会員の皆さん全員の交流参加によって支えられております。

世の中の社会経済活動がコロナ前に戻るのと同様に、コロナで自粛をしていた私ども電友会の交友活動も、すでにコロナ前に戻りつつあり、本部主催の各種イベントや会議なども集合形式での実施を前提に今年度の基本的な活動方針を立てております。

一方、会員相互の交友活動と並ぶ、電友会活動の大きな柱であるボランティア活動に関しては、コロナ禍においても地道に活動頂いており、これら会員の皆さんの地道な活動は地域社会への貢献とNTTグループのシンパシーの向上にも大いに役立っていると思っております。

NTTグループとの連携や事業支援については、残念ながら、コロナ禍において、やむを得ない自粛が見られましたが、今年からは、コロナ前に戻った、活発な活動が期待されるところです。

特に、アクティブシニア支援機構（ASO）においては、従前からの防災監視業務の拡大や自治体のスマホ教室の開催支援に加え、ドコモ社とタイアップしてスマートシニアリーグを結成するなど、会員の就労支援と合わせた連携が期待されているところであります。

さて、電友会にとって昨今の会員数の減少が急務の課題となっていることはご案内のとおりです。昨年度末の会員数も64千名と、ここ数年の傾向ではあります。前年比で▲3千名減少しております。

電友会と致しましては少しでも会員の減少を抑えられる取組みを一層強化していく必要があります。

また、現在、正社員としての定年年齢は60才で変わらないものの、65才までの契約社員での就労が一般的になっていることも踏まえると、一律に60才で正規の会員として会費を頂きながら活動して頂くにはいさかか無理があり、現在の入会スキームを今後どうしていくかも大きな課題と考えております。

一方で、入会勧奨もさることながら、私ども電友会も、私どもの活動自体がNTTのOB/OGにとって、魅力あるものにならないかならなければならないと思っております。

5月に開催された全国女性の会において、全国から集まった女性会員の皆さんと意見交換したところ、もっと女性の意見を取り入れて運営をすべきた、或いは女性役員がもっといて良いなど、貴重な意見を頂いており、引き続き、会としても努力していく必要があると考えているところです。

NTTグループの事業は、ご案内の通り昨年度も史上最高の営業収益・営業利益を計上し、今年5月には、I・W・O・N開発の加速やグリーンソリューションの推進などを掲げた「新たな中期経営戦略」を発表するなど、現役の皆さんのご尽力により、社会経済における存在感と国内外からの期待感が一段と高まっているところで、誠に頼もしい限りです。

私ども電友会は、NTTグループの基盤を築いてきたOB/OGによる会であることに誇りを持ちながら、みんなが交友を深め、健康で充実したシニアライフを過ごしていきたいと思います。

電友会役員

会長	高部 豊彦	(本社地方本部長)
副会長	片山 泰祥	(東京地方本部長)
副会長	加賀谷 卓	(関西地方本部長)
副会長	西尾 彰夫	(ドコモ地方本部長)
副会長	吉澤 和弘	(東京地方本部副本部長)
理事	吉村 辰久	(関東地方本部長)
理事	小椋 敏勝	(信越地方本部長)
理事	舞田 正勝	(東北地方本部長)
理事	高石 茂	(北海道地方本部長)
理事	伴 秀実	(関西地方本部副本部長)
理事	中田 晴夫	(東海地方本部長)
理事	岡本 金久	(北陸地方本部長)
理事	川守 祐市	(中国地方本部長)
理事	前重 民夫	(四国地方本部長)
理事	吉岡 広志	(九州地方本部長)
理事	熊本 敏彦	(沖縄地方本部長)
理事	仲本 榮章	(コム地方本部長)
理事	庄司 哲也	(本部事務局長)
理事	星野 睦	(東京地方本部副本部長)
理事	成宮 憲一	(東海地方本部副本部長)
監事	橋本 涉	
監事	村上 治	
相談役	林 豊	
相談役	青木 利晴	
相談役	鈴木 正誠	

《懇親会》



(乾杯)
青木電友会相談役

(ご来賓挨拶)
宮津NTT特別顧問



(中締め)
片山電友会副会長



ご講演
「NTTグループ
新中期経営戦略について」
日本電信電話株式会社
代表取締役社長
島田 明様

《評議員会・講演会》

日時：令和5年7月6日(木) 場所：KKRホテル東京



(ご来賓祝辞)
日本電信電話株式会社
執行役員総務部門長 山本恭子様



(高部会長挨拶)



(監事報告)



(議案説明)



(名小路議長)



電友会第34回評議員会



(評議員会模様)



各地方本部の活動紹介



関東

初代国立劇場さよなら公演 初春歌舞伎・新春を寿ぎ艶やかに開幕

令和5年1月14日(土) 関東地方本部並びに神奈川支部の交流施策として4年振りに国立劇場において歌舞伎鑑賞会を開催しました。

当日、関東地方本部各支部・神奈川支部、日比谷同友会の会員の皆様135名の方に参加して頂き、再会の喜びと華やかな歌舞伎鑑賞会を実施することができました。

現在の国立劇場(大劇場)は、今年11月にリニューアル解体されるため、演目は、初代国立劇場初芝居の見納めに相応しい尾上菊五郎が「遠山桜天保日記」を演じました。

また、舞台を彩る女形の艶やかな舞姿・賑やかな音曲など素晴らしい舞台演出を堪能しました。



東京

電電千代田会 令和5年度総会懇親会

新型コロナウイルスはまだまだ侮れない状況ですが、5類への引き下げやマスク着用の自由化などようやく感染が沈静かしたなか、平時の総会が令和6年6月13日(火)東京ドームホテルに於いて、NTT 東京事業部様、各支部からの代議員並びに役員の出席を得てリアルでの開催となりました。

日時 令和5年6月13日(火)
場所 東京ドームホテル(文京区後楽1-3-61)



本社

日比谷同友会 『異業種交流会』

異業種交流会は、日比谷同友会が、NTTグループや関連会社・賛助会社のビジネス拡大を目指して2009年度より毎年行っており、今年で16回目を迎えます。

開催にあたっては、NTTグループ各社及び関連会社(メーカ・工事会社・各種協会など)でご活躍の皆様や、日比谷同友会賛助会社の営業担当の皆様に参加して頂き、情報交換・意見交換の場としてNTTグループ・関係会社・賛助会社など全体のビジネス拡大に貢献できればと願って実施しています。

内容は講師を招いての講演会、グループ会社紹介、集まった参加者の交流会となっています。



講演模様



講演会場風景

北海道

北海道 電電こぶし会 「全道パークゴルフ大会」

パークゴルフ発祥の地である北海道ではサークル活動が活発に行われております(サークル数 12、こぶし会会員数 250名)。

年に1度全道の精鋭が集まり日頃の鍛錬の成果を競い交流を深めています。



昨年の全道パークゴルフ大会の様

東北

東北電友会「活動再開」

◎3年半ぶりのOB大学を開催(盛岡電友会)

「戊辰戦争と南部藩」と題し、旧盛岡藩士桑田元理事長の下山寛様を講師に迎え開催。歴史が大きく変わった150年前の出来事に心を寄せた講演会でした。(R4.9.29、参加者37名)

◎創立60周年記念「余技作品展」を開催(秋田千秋クラブ)



作品毎に作者のコメントを記入したので、出展者の気持ちが伝わり非常に良かったとの声が多数。(R4.9.2~9.4、出展数19部門473点、来場者数:591名)

◎eスポーツ体験会実施(宮城支部)



高齢者の健康増進と認知症予防等の効果を検証する試みを体験。参加者からは脳の活性化を感じ、とても楽しい時間だったと好評。(R4.8.25、参加者30名)

信越

信越電友会 「ウイズコロナ時代の健康セミナー」を開催

健康運動指導士を講師に迎え、「人生100年時代を乗りこえるコンディショニング講座」を開催しました。会場に出向かず、自宅でも参加できるリモート形式でのセミナーとし、講師も多くの受講者も全ての会場を見ることができ環境で、リモートでの運動を体験しました。



北陸

北陸電友会 「新春クラシック & ランチとおしゃべり」

新春のピアノコンサートを「石川県立音楽堂」で聴き、その旋律に癒された後、ホテル日航金沢のランチバイキングで美味しい食事とおしゃべりを楽しみ充実した一日となりました。

日時 1月24日(火)
参加者 40名(うち女性25名)



東海

東海電電旧友会 二刀流はここにもいた!!

NTT退職者美術展を全支部リアル&ブログで開催

これまで愛知県3支部合同で開催してきた「NTT退職者美術展」を、新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、展示会方式(リアル)を断念し、ブログ美術展を開催した。各々のメリットを活かす観点からコロナが少し落ち着いた昨年度は、全支部において展示方式(リアル)とブログ美術展を開催した。



関西

関西電友会「女性活動委員会」 奈良西大寺参拝・大茶盛体験と グルメお食事を開催

今回で五回目となる女性会員対象支部間交流「お勤めご当地ご案内」は、コロナウイルス感染防止のため止む無く二年続きで中止していましたが、10月13日(木)関西地方本部と担当の奈良支部が相談のうえ、開催を決定総勢60名が参加して実施しました。



九州

九州電友会 「電友会親善ゴルフ九州大会」

日時 令和4年9月29日(木)
場所 佐賀県多久市「天山カントリークラブ」

好例のゴルフ九州大会も新型コロナの影響で3年ぶり、佐賀支部幹事での開催となりました。各支部から90名での開催となりましたが、今回は沖縄地方本部より仲本榮章会長を始め7名の参加を



頂き、過去最高97名での開催となり、沖縄を含めた全九州での親善が図れた意義ある大会となりました。



四国

四国電友会 「趣味の作品展」開催

コロナ禍の影響で久しく開催されていなかった「趣味の作品展」を愛媛電友会・徳島電友会で開催しました。作品はどれも「玄人はだし」の力作揃いで、会場にはOB・OG・現役社員のほか、一般の方も多く立ち寄り、知人の作品を見つけては会話に花を咲かせるなど、多いに盛り上がりました。



中国

中国電友会 プロ野球観戦・カープ応援ツアー

6月4日(日)中国電友会広島支部カープ応援ツアーを実施しました。今回はデーゲームの観戦でもあり、島根県、岡山県、山口県からの応募もあり、募集定員を超える応募となりました。遠い方は隠岐の島から参加いただきました。

梅雨の合間の曇り空で程よい風が吹く中、蒸し暑くもなくデーゲームには最適な天候となりました。対戦相手はソフトバンクホークスで5回までは1対0とカープがリードし盛り上がりましたが、6回に3点取られて逆転され、その後も同点のチャンスがあるもののタイムリー



が出ずカープの惜敗となりました。皆さんは、カープは惜敗したものの緊迫した接戦に盛り上がり満足して帰られました。



コム

コム同友会 おとなの社会見学3 海底敷設船SUBARUの見学

コム同友会では「大人の社会見学」と称して国立競技場・海底敷設船などの施設見学を行っています。

写真は最近行ったNTT WEマリン社の海底敷設船の見学模様です。

WEマリン社渡邊社長のご挨拶、業務概要説明に続き船内の見学を行い、重慶飯店のランチで懇談しました。



ドコモ

ワインテイスティングクラブ(ドコモ同友会) 創立7周年を迎えた ワインテイスティングクラブ

当クラブは2015年11月の発足以来、コロナ禍で休会が続く時期を乗り越えて、2022年12月に創立7周年、第60回例会を開催することが出来ました。

フランス、イタリア、スペイン等の主要なワイン生産国やアメリカ、チリなどのニューワールドと呼ばれるワイン生産国を巡り、その地方特有の品種や製法などのワインに関する情報だけでなく、歴史、気候、地形、地質まで幅広い分野を学びながら、地元の各種のワインをテイスティングしています。



沖縄

電友会女性の会うないと NTT女性委員会うんないの交流講演会開催

電友会女性の会うんないがNTT女性委員会うんないとの交流企画として、沖縄初の女性総支配人武田寛枝さん(株式会社ワジュール・ホテル沖縄)を招き「私の歩んできた道」と題し、令和5年6月14日(水)に講演会を開催した。

交流講演会ではこれまでのフードバンクやタオル帽子作り等の活動のほかに今回のような講演会など様々な取り組みを一緒に実施し、定年退職後は電友会に加入し楽しみながら女性の取り組みを盛り上げていこうと締めくくった。



電友会うんないから12名、NTTうんないから11名が参加、電友会未加入の参加者には入会勸奨の場となりました。



第7回全国女性の会開催



1. 日時 令和5年5月30日(火) 14時～
 2. 場所 ホテルモンブレ京都(京都市中央区烏丸通三条下ル饅頭604)
 3. 議事等
 - (1) 高部会長挨拶
 - (2) 参加者紹介
 - (3) 事務局紹介
 - (4) 意見交換
 - 第一部 関西地方本部 女性活動委員会の活動について
兵庫支部/大阪東支部による事例発表
 - 第二部 その他事例を交えた意見交換
- (テーマ) ・サークル/イベント活動を通じた仲間づくりについて
・会員拡大に向けた提言
- (5) 懇親会 17:30～19:00



令和4年度「事業報告」

令和4年の事業運営については、(1)仲間づくりと楽しい電友会活動の実践、(2)ボランティアや就労等の活動を通じた世の中への貢献、(3)NTTとの連携と事業支援を柱として取り組むこととしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が継続していたものの、各種の行事や活動はワクチン接種の普及などもあり、徐々にではあるが、with/after コロナが定着し、コロナ前の活況を取り戻す動きが出てくるようになった。

1. 総会・評議員会の実施

令和4年7月7日に開催した電友会本部の評議員会は、新型コロナの感染拡大を考慮して「書面開催」とし、地方本部や支部・地区等の総会・評議員会についても多くが「書面開催」となって令和4年度事業計画等が決議されたが、15 地方本部のうち東京、関西など6 地方本部においては3年振りに集合開催による総会が開催された。

2. 仲間づくりと楽しい電友会活動の実践

(1) 地方本部や支部等におけるサークル活動、レクリエーション活動、各種イベント等については、新型コロナの影響で大幅に自粛せざるを得なくなり、活動参加者は121千人で、新型コロナ感染前の元年度(224千人)に比べ人員数では▲46%の減少となった。

なお、令和4年9月下旬に予定していた本部主催の「全国女性の会」は、前年度に引き続き、新型コロナの感染拡大を考慮し中止とした。

3. ボランティア活動等による世の中への貢献

(1) 令和4年度のボランティア活動表彰者は、活動賞33名(個人表彰31名、団体表彰2名)、活動功労賞9名(個人表彰2名、団体表彰7名)としたが、with/after コロナの世の中での状況に合わせ、11月16日に予定していた「ボランティア活動表彰式」は、出席者を極力限定して東京にて表彰式を行い、着席での食事会を実施した。



(2) 会員の就労ニーズへの対応

NPO法人「アクティブシニア支援機構(ASO)」においては、令和4年度は新規事業の取組みとして、①東日本の鋼管柱点検業務、②デジタル支援活用事業、③オンライン通いの場、④GIGAスクール(ICT支援員)等に精力的に取り組むとともに、防災監視業務のエリア拡大や自治体等へのスマホ教室(10か所40回)の開催に取り組んだ。電友会としては、会員の就労ニーズ支援の観点から、ASOの取組みに積極的に協力したところである。

4. NTTグループとの連携と事業支援

(1) 電友会が主催する総会・評議員会や各種イベントは、新型コロナの影響で書面開催や自粛とせざるを得なかったこと、また、NTTグループが企画・主催する退職交流会やCSR活動等についても自粛とされたことから、地元のNTTグループ幹部や社員、賛助会員との交流が十分にできない面があった。

(2) 会報誌に、NTTグループの幹部挨拶や事業動向等を掲載しNTTグループ事業の理解を深めるとともに、会報誌への広告掲載やチラシ同封等によりNTTグループ事業への販売強力に取り組んだ。

5. 会員の確保に向けた取り組みと財務の健全化等

令和4年度末の会員数は、減少し歯止めがかからない状態が続いている。そのような状況の中で、①退職者への入会勧奨、②「入会案内」の更改、③会費収納の徹底、④広告掲載やチラシ同封の拡大、⑤経費の効果的な使用等により、入会促進と財務健全化に継続的に取り組んだ。

令和5年度「事業計画」

電友会は、会員の皆さまが社会環境の変化に柔軟に対応し、仲間や地域の繋がりを大切にしながら、健康で有意義なシニアライフを過ごしてもらうようにお役に立つことを基本に活動している。この考え方をベースに、(1)仲間づくりと楽しい電友会活動の実践、(2)ボランティアや就労の活動を通じた世の中への貢献、(3)NTTグループとの連携と事業協力を柱に取り組んでいくこととする。

1. 仲間づくりと楽しい活動の実践

(1) 電友会活動の大きな柱であるサークル活動、レクリエーション活動、講演会・セミナー等については、それぞれ地域性を活かして魅力のある活動を展開する。

- ①アンケートや会報誌への投稿内容等により会員の意見・要望を収集し、会員ニーズに合った効果的な活動や施策を企画・実施する。
- ②会報誌、ホームページ、ブログ、メール等の活用により、活動や行事への参加の呼びかけ、活動内容の紹介など、会員コミュニケーションの充実を図る。
- ③健康寿命を延ばすための健康講演会・健康講座・健康体操等に積極的に取り組むこととし、推奨施策としてその経費の一部を本部で支援する。

(2) 本部においては、地方本部や支部等における、①レクリエーション活動やイベント等の優良施策、②様々な分野で活躍する会員、③健康寿命を延ばすための健康施策、④ボランティア表彰受賞者の活動内容等について、会報誌・ホームページ・ブログ等でタイムリーに紹介・推奨する。

(3) 地方本部等が実施する、①女性フォーラム、②お元気ですかコール、③ボランティア活動、④サークル活動など、女性のパワーや感性を活かした活動の更なる充実と拡大を目的に、今年度は「全国女性の会」を集合型で開催する。

2. ボランティアや就労の活動を通じた世の中への貢献

会員においては、①培ってきたスキルや経験の社会への還元、②退職後の新たな生き甲斐、③健康で有意義なシニア生活などの観点から、様々なボランティア活動や就労活動に取り組んでおり、これらの活動が地域社会へ貢献し長寿社会を豊かにしていくとともに、NTT-OB/OGの活動がNTTグループへのシンパシーを高めていくとの認識に立ち、積極的に推奨・支援していく。

(1) ボランティア活動による貢献

- ①ボランティア活動は電友会の中心となる活動として、広範な活動の中から優良活動を発掘し、ボランティア活動表彰を行う。
- ②地域社会で活躍されている電友会のボランティアサークルに対し、ボランティア活動物品支援金として費用面から支援し、ボランティア活動を推奨していく。
- ③「チームNTT」の一員として、NTTグループのCSR活動に積極的に参加しに貢献していく。

(2) 会員の就労ニーズへの対応

NPO法人アクティブシニア支援機構(ASO)においては、従来からの継続雇用に加え、①デジタル化への対応事業で、総務省の「デジタル活用支援推進事業」、②NTTグループ会社の事業効率改善の事業である防災監視業務、鋼管柱点検、不動産管理補助業務、③NTTブランドを高める事業で、NTTのOB/OGによるシニアスマートリーグ(SSL)なるドコモ応援団を結成し、PR、講習会、販促、コミュニティ形成が検討されていることから、今後とも会員の就労参加ニーズへ対応すべく、これらASOの事業と引き続きASOと連携を図っていくこととする。

3. NTTグループとの連携と事業協力

(1) NTTグループとの連携にあたっては、あらゆる機会を通じて、電友会事業への理解と協力に取り組む。

(2) NTTグループのCSR活動である、「チームNTT」の一員として参加し、NTTグループの企業イメージ向上に貢献していく。

(3) NTTグループへの販売協力として、①会報誌への広告掲載やチラシ同封、②各種イベントでの商品チラシ配布、③スマートホン等の講習会・勉強会、などを通じて、会員からの販売情報の取次ぎに取り組む。

4. 自然災害等への対応

地震や台風等の大規模な自然災害に対し、会員の安心・安全に向けた取り組みを強化していくとともに、新型コロナの感染予防策等の発信については、引き続き、NTTグループや行政等の情報をベースに感染予防の心得をもとに引き続き行動制限緩和後の注意事項等を定期的に周知し注意喚起していく。

5. 会員の確保と財務の健全化等

令和3年度末に比べ3,074名(4.6%)が減少し、減少傾向に歯止めがかからない状態が続いていることから、引き続き、NTTグループと連携しつつ、入会勧奨の強化を図っていくとともに、会員数が減少傾向にある中で財務の健全化に向けて取り組む。

電友会会員の
皆さまへ

NTTグループ団体扱
火災保険

で住まいの安心を備えませんか?

ぜひ、きらら保険サービスにご相談ください。
保険のプロとして最適なアドバイスをさせていただきます。

「団体扱火災保険」のメリット

メリット
1 NTTグループだから団体扱のご契約で
10%割引に!

※大口団体割引は、2022年10月1日～2023年9月30日に保険始期日があるご契約に適用されます。(ただし、地震保険には適用されません)。大口団体割引は団体のお取引実績に応じて毎年10月1日に見直されます。

メリット
2 保険料は
振り込みナシで便利!

[退職者:口座振替]

お問い合わせ先
取扱代理店

NTTグループ総合保険代理店
きらら保険サービス株式会社

お客様コンタクトセンター

0120-590-251

受付時間
平日 午前9:00～午後4:00
(土・日・祝日はお休みさせていただきます)

きらら保険

検索

<https://www.ki-ra-ra.jp/>

2023-035